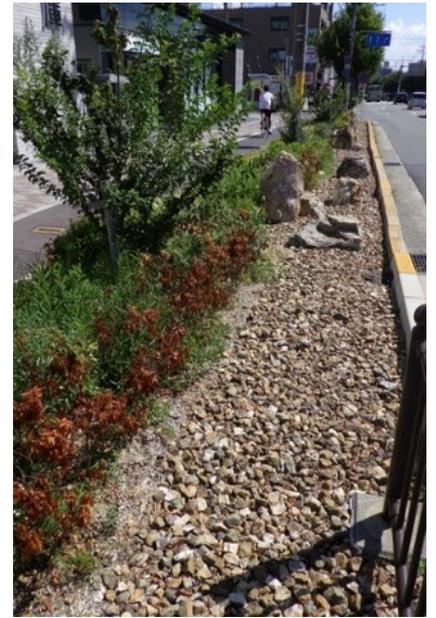




京都市緑のボランティアセンターでは、緑のボランティア活動や地域での活動に役立てていただくため、緑に関する情報や取組みを御紹介します。

街路樹サポーターによる雨庭の手入れ活動—北野白梅町交差点雨庭

北野白梅町交差点にある雨庭は、交差点周辺の2つの街路樹サポーターによって手入れされています。両サポーターとも企業であり、社員が手入れ活動をされています。そこで、勤務時間の中で活動するための工夫を中心に、両サポーターから活動状況を伺いました。



交差点南東角の雨庭

◆京都中央信用金庫 白梅町支店

2022年6月に交差点南東角の現在地に移転したことを機に、同年10月から手入れ作業をされています。

白梅町支店の内田氏によると、「支店長以下職員全員(22名)が4つの班で作業しています。雨庭の手入れが、異なる担当同士の交流の場にもなっています」とのことでした。また、「雨庭の役割を維持するため、きれいな状態を維持することが必要と考えています」と、雨庭の効果を意識されています。

清掃中は通行人から励ましの言葉をかけられる機会が多いそうで、「京都中央信用金庫のキャッチコピー、“On your side” を胸に、サポーターとして地域の方々に寄り添いたいと考えています」と話されました。

◆京福電気鉄道株式会社

「嵐電」の通称で親しまれる京福電気鉄道北野線の駅舎(北野白梅町駅)が交差点のすぐ西側にあります。2021年に雨庭が整備完了したのを機に、手入れ作業を始められました。

同社の和治会長によると、「ふだんから北野白梅町駅の掃除をしていますので、その続きで行うことにし、協力することにしました。」とのことでした。

北野白梅町駅には、常駐する8人の駅務員がいて、雨庭の手入れを日替わりで担当しています。「雑草をどうしたら良いかなどレクチャーを受けてよりよく手入れしたい」という声もあるそうです。

「駅がここにある限り、これからも手入れを続けていきたいと思えます」と力強く話されました。



交差点西側の雨庭



【雨庭とは?】雨水を一時的に貯めて、ゆっくりと地下に浸透させるための緑地で、近年、多く発生するゲリラ豪雨への対応としても注目されています。京都市では市内各地の街路樹帯を活用して、全国に先駆けて整備を進めています。

【北野白梅町交差点の雨庭】2021年に整備され、交差点を中心に7ヶ所の植栽帯を設置しています。州浜(すはま)や景石をメインとした雨庭で、交差点の見通し確保のため植栽には高木は使わず、中低木や草花を利用し、果樹のユスラウメも植えられています。

都市公園制度 150 周年と名勝円山公園

日本の公園制度は、明治6年(1873)に発せられた太政官布達(だじょうかんふたつ)第16号が始まりとされており、京都市では、「円山公園」がそれに基づき整備されました。

令和5年(2023)は、布達から150周年を迎える記念の年となるため、国土交通省を中心に全国各地で「都市公園制度制定150周年記念事業」が実施されています。そこでこの機会に、円山公園の歴史等をご紹介します。【写真は京都市提供】



「太政官布達」と円山公園の誕生

現在、日本全国には約11万3千箇所、京都市内には955箇所^(※1)の都市公園が開園しています。これらのほとんどは、昭和31年(1956)に制定された「都市公園法」に基づき整備されたものですが、都市公園法が制定されるまで公園に関する法令の役割を持っていたのが明治6年(1873)の「太政官布達」第16号^(※2)です。

太政官布達は、江戸時代までの社寺領地などを国有地化し、西欧にならい近代的な公園として整備し、公開の場所とすることが目的でした。この布達により、東京の上野公園など、全国各地に公園が整備され、京都では明治19年(1886)に円山公園が開園しました^(※3)。

※1 令和5年3月末時点の箇所数。

※2 太政官は内閣制度の発足(明治18年(1885))までの国の最高官庁。

※3 有名な祇園枝垂桜(初代)は、円山公園の開園前から花見客に親しまれていました。



明治42年(1909) 初代の祇園枝垂桜



東山を借景とした池からの眺め(令和5年)

円山公園の歴史と変遷

円山公園は、開園後も拡張、改良工事が進められました。東側一帯の庭園



流れ付近のようす。大正14年(上)と修復工事後の令和4年(下)

部分は、著名な庭師「植治(うえじ)」こ

と七代目小川治兵衛(じへい)が工事を任せられ、近代的な公園ではなく、自然の風景を取り入れて作庭されました。その後、音楽堂が設置され、園路舗装、休養施設も含め、昭和初めに現在の公園の姿がほぼ整えられました。

そして、昭和6年(1931)、史蹟名勝天然記念物保存法(現・文化財保護法)に基づき、『「四時遊覧ノ勝区」(季節、時間を問わず見物して回ることができる景勝地)である』として、国の「名勝」に指定されました。

また、円山公園及び周辺地域は、昭和5年(1930)に風致地区に、昭和42年(1967)には古都保存法に基づく歴史的風土特別保存地区に指定され、背景の東山とともに公園の雰囲気や風致景観の保全が図られてきました。

円山公園の保存管理計画と新たな利活用

時代を超えて市民に愛されてきた円山公園も開園後100年以上経過し、施設の劣化、眺望や景観の悪化等が顕在化してきました。このため京都市は、「四時遊覧の名勝地 円山公園の復活」を基本的な考え方として、「名勝円山公園保存管理計画(平成28年3月策定)」に基づき、

平成28年から令和3年まで、庭園部の流れとその周辺広場、祇園枝垂桜周辺及びトイレの再整備を行いました。また、公園管理についても令和5年度に指定管理者制度が導入され^(※4)、魅力発信と活用のための取組を進めています。

このように、名勝円山公園は、江戸期以前からの歴史文化的資源、自然景観を背景に公園化され、それ以降も、永きにわたりさまざまな取組を実施することで魅力の維持が図られ、市民に愛されてきました。京都市最古の公園が未来に向けて更に発展することが期待されます。

※4 第一期指定管理者・(公財)京都市都市緑化協会

公園のポテンシャルを探る！「おそとチャレンジ」

公民連携 公園利活用トライアル「おそとチャレンジ」とは？

公園でよく見かける「〇〇禁止」の看板…。市民の方々が安心・安全に公園を利用するために決められたルールですが、「できないことが多くてもったいない」と思われたことはありませんか。

京都市みどり政策推進室では、利用者の安全に配慮しつつ、地域や企業の方々と一緒に公園の使い方を考え、柔軟な利活用を試行的に実施する「おそとチャレンジ」に取り組んでいます。令和3年度にスタートし、令和5年度は、宝が池公園をはじめとする9つの公園での実施に向けて取り組んでいます。今回はその中から、宝が池公園の取組をご紹介します。

宝が池公園の「おそとチャレンジ」

宝が池公園は豊かな自然や大きな広場が魅力ですが、一方で、飲食などのサービスを提供するお店が少ない、といった課題もあります。

このため、これまでキッチンカーや映画、バーベキューなど様々な取組を「おそとチャレンジ」として行ってきました。

そして、来たる11月11日(土)には、「おそとチャレンジ」野外映画観賞会が開催されます。いつもの公園とは一味違う、自然と融合した一夜限りの特別な空間をお楽しみください。



★野外映画観賞会

「パークシアターin 宝が池公園～夜空と自然とスクリーン～」

日時: 令和5年11月11日(土) 午後5時～

場所: 宝が池公園 いこいの森

子どもに大人気の映画が上映される予定です♪

詳細・申込はこちら ▶



野外映画観賞会



公園を起点に、新たな対話・連携の場へ…。

「おそとチャレンジ」の取組も踏まえ、令和5年3月、宝が池公園の周辺地域の自治会、活動団体、企業などをはじめとした公園に関わる多くの方々が集うプラットフォーム「宝が池みらい共創会議(仮称)」準備会が立ち上がりました。

同年8月には、第2回準備会を開催し、公園の現状・課題のレクチャーと、公園の魅力を再発見し、将来、宝が池公園がどのような場所になってほしいかを考えるワークショップを実施しています。

「園内のエリアごとに、できること・できないことを整理することがまずは大事」、「公園に情報発信と交流の拠点をつくりたい」など、活発な意見交換が行われ、関係者間の交流が深まりました。

今後、プラットフォームの活動や「おそとチャレンジ」の実践を通じて、宝が池公園がこれまで以上に魅力いっぱいの公園になるよう取り組んでいきます。



【おそとチャレンジの問合せ先】

京都市みどり政策推進室(公園利活用担当)

TEL:075-222-4113 HPはこちら ▶



公民連携 公園利活用トライアル事業

おそとチャレンジ

秋の七草の覚え方 — 「お好きな服は？」

「春の七草」(セリ、ナズナ……)は正月の七草粥の風習もあり、なじみのある方が多いかもしれませんが、秋の七草を全て覚えていてる方は少ないのではないのでしょうか。秋の七草(七種)は山上憶良が詠みました『万葉集』(巻八)。

秋の野に咲きたる花を指折りかき数ふれば七種の花

萩の花尾花葛花などしこの花をみなへしまた藤袴朝顔の花

「こ」ではおすすめの覚え方「おすきな ふくは」をご紹介します。「朝顔」は、諸説ありますが、古代ではキキョウを指していたと考えられています。



ふ…フジバカマ(藤袴)



す…ススキ(尾花)



き…キキョウ(朝顔)



く…クズ(葛)



な…カワラナデシコ(なでしこ)



は…ハギ(萩)



お…オミナエシ(をみなへし)

きれいでも… 栽培してはいけません

■特定外来生物「オオハンゴウソウ」について

7月～10月に道端や空き地に咲くキクのような花、**オオハンゴンソウ**(通称ルドベキア)は北米原産で、繁殖力が強く、在来の植物を駆逐する可能性があるため特定外来生物に指定されています。許可のない栽培や売買、生きたままでの移動は違法となり禁止されています。オオハンゴンソウの園芸品種で八重咲きの**ハナガサギク**も特定外来生物です。現在は全国に分布し、実際に生態系に悪影響がある事例もあります。

【ご家庭の庭先に生えたとき・駆除するときは、】

1. 種をこぼさないよう根から引き抜く
2. ごみ袋に入れて口を閉じ可燃ゴミとして廃棄



オオハンゴンソウ

「オオハンゴンソウ」ではない**ハンゴンソウ**(在来種)は、中部地方以北に分布します。別属で全く形が違います。背丈は1～2mに達します ▼



ハンゴンソウ

お気軽に
ご相談
ください

京都市緑のボランティアセンター

電話:075-352-2535(梅小路公園内専用回線)

場所:梅小路公園緑の館 2階ロビー(京都市下京区観喜寺町 56-3)

時間:午前9時～午後5時まで 月曜日を除く毎日(年末年始 12月28日～1月4日休み)